

第４９回公共施設等総合管理計画 策定推進本部		日時	令和７年８月２０日（水） ９：３６～９：４３	場所	庁議室
出席者 （１５人）	白井市長、神山副市長、古橋副市長、大熊教育長 梅原企画財政部長、高橋庁舎建設等担当部長、鈴木総務部長、深澤市民部長、柿崎環境部長、高橋福祉保健部長、堤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、大澤学校教育部長、平野生涯学習部長、伏見議会事務局長				
欠席者	なし				
事務局	企画政策課 郷古公共施設マネジメント推進担当課長 保育課 中島保育施策調整担当課長				
議題	１ 小金井市立保育園の在り方に関する方針について				
資料	１ 小金井市立保育園の在り方に関する方針について				
（進行：企画財政部長）					
【議題１】 小金井市立保育園の在り方に関する方針について					
（本件については、事務局が説明を行った。）					
○ パブリックコメントについては、提出人数は１４５人、延べ提出件数は２４４件、意見の件数は５１６件であった。意見総数が非常に多く、かつ長文の意見が多く提出されたところであり、それぞれの分類において主な意見の概要をまとめ、それに対する検討結果を総括的に記載している。 ○ 小金井市立保育園の在り方に関する方針については、方針案を策定して以降、説明会やパブリックコメント、市議会からの御意見等を踏まえ、方針案の修正について検討してきた。 ○ 大きな修正点は２つで、１点目は４ページの保育定員の見直しについて、在園児の下の子が定員減により入園出来なくなるのではないかという御意見を踏まえ、令和８年度と令和９年度の定員を増やしたものである。また、幼児クラスが減ることについて説明不足との御意見を踏まえ、表外に追記をした。２点目は、７ページの役割対応のための職員配置について、御意見を踏まえ、人数を表にして記載したものである。 ○ 小金井市立保育園条例については、決定した方針を踏まえた内容になっている。主な１点目は、くりのみ保育園は令和１０年３月３１日で閉園し、さくら保育園は令和１１年３月３１日で閉園するものである。２点目は、閉園する２園の定員を段階的に縮小すること、わかたけ保育園、小金井保育園、けやき保育園の３園については、保育定員を減員し、新しい役割を担っていくものとしていくことである。 ○ 施行期日は、令和７年１０月１日である。詳細は資料のとおり。					
【関連質疑等】					
なし					
— 以上で、会議終了 —					